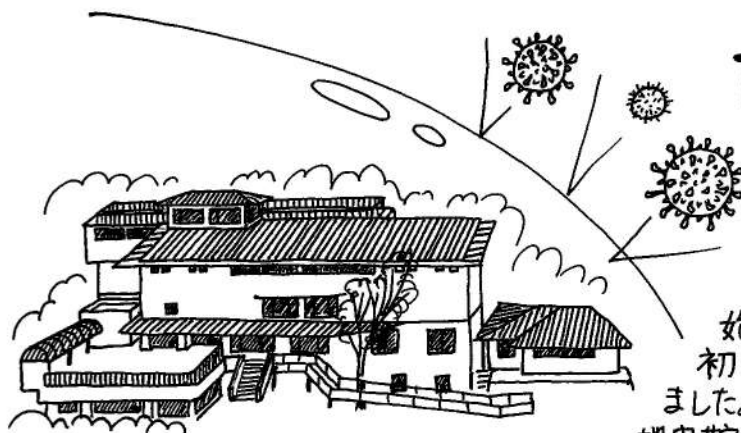


新型コロナウイルスと博物館

新型コロナウイルス感染拡大による博物館の対応

4月13日から臨時休館(5月10日まで)。
5月20日まで休館延長。
5月21日から県内在住者の見学開始。
6月1日から東海三県からの見学開始。
6月19日から全国からの見学開始。

入館時チェック
マスク着用、手指消毒
健康であること
密にならない見学
住所、氏名、連絡先記入



博物館ザッ記 No. 12 2020-VI

コハズク初鳴 (令和2年4月21日)

4月19日から調査を始めたところ、21日に今年初の鳴き声が確認できました。場所は新城市四谷地内鞍掛山です。またまた市内各地で生息調査を続けます。



新城市の鳥

- 職員による見学案内、ガイドツアーなどは当面行わない。
- 野外学習会は8月末まで中止。
- 友の会の「梅雨のキノコ観察会」は中止。

- 館内の消毒。
- 受付・カウンターのシールド。
- 展示室、事務室の換気。

コロナ時の博物館業務

コロナ対策期間に、館では普段できない、様々な作業を行うことになりました。

○バックヤードの整理・整頓

- 事務室・収納室の整理
- 屋外岩石棚の整理
- 剥製標本の手入れ
- 菌類標本の整理
- 顕微鏡コーナーの整頓

○ミュージアムショップ見直し

- 新商品開発、作成
- コロナ対策マスク(手作り)
- カンパッチ(新サイズ登場)
- レイアウト変更

○博物館ブログの更新

- 毎日更新

○展示改善

- 標本ラベルの更新
- 展示台のリメイク
- 博物館ザッ記で展示案内

○夏の特別展準備

コミズク来館・受入 (令和2年4月15日)

西尾市でケガをして保護されたコミズクがやってきました。事故にあっってしまったようで、獣医さんの治療も受けましたが、左翼と左脚が動かず、立ちあがることもできない状態でした。

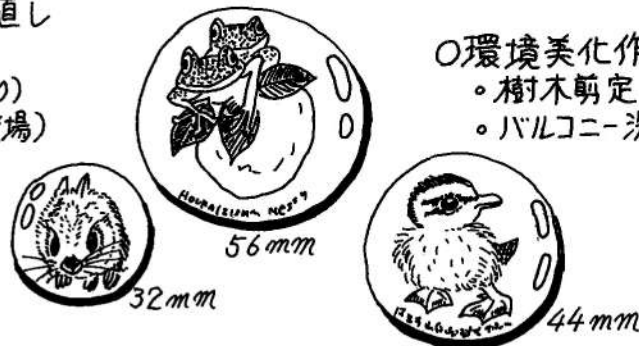
愛知県からの依頼で、当面博物館で保護飼養することにしました。野生への復帰はむずかしそうです。



鳳来寺山
自然科学
博物館

○環境美化作業

- 樹木剪定
- バルコニー洗浄



ササユリ咲く (令和2年6月7日)

淡い桃色の花は皆に愛されます。新城地方では6月が開花時期になります。中部以西に自生しますが、最近はやめつきり数が減ってしまいました。山や里の草刈りをしなくなったこと、獣害も原因と思います。



新城市の花

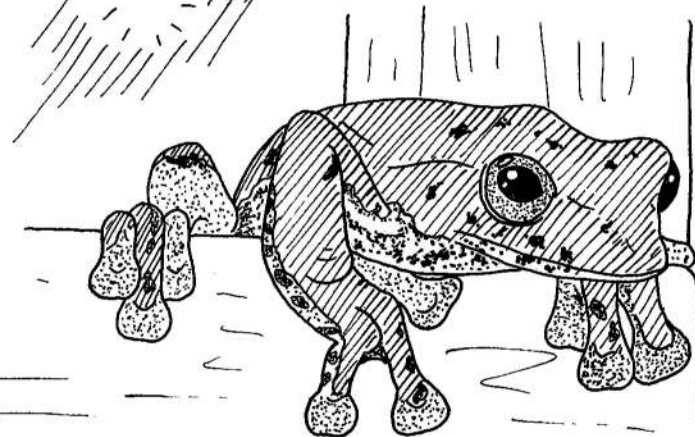
ゆき

ケンジボタル舞う (令和2年5月28日)

新城市布里から情報がありません。夜間のコハズク調査をしていると光の舞に出会うことがしばしばあります。明かりのない山中でボタルの明滅は幻想的です。



新城市のカエル



モリアオガエルの産卵始まる (令和2年5月16日)

この日、門谷の真増寺奥の水槽で、今年初の産卵がありました。友の会の丸山会長からの報告でした。20日には、博物館の水槽でも産卵。いよいよ産卵シーズンとなりました。各地からも新たな産卵情報が届きました。6月12日、新城市日吉のクリーンセンターの調整池で産卵初確認。6月15日、新城市乗本の赤峰で産卵初確認。